

相澤病院 新院長に田内氏

前院長 相澤氏 日本病院会会長に

松本市本庄2の相澤病院は1日、病院長の相澤孝夫氏(70)が5月末で退任し、新院長に院長代行の田内克典氏(58)―松本市島内



田内克典新院長

社会医療法人財団・慈が引き続き務める。

相澤孝夫氏(70)が5月末で退任し、新院長に院長代行の田内克典氏(58)―松本市島内

田内 克典氏(たうち・かつのり) 松本深志高校、富山医科薬科大医学部卒。同大大学院医学研究科修了。平成12年度まで富山医科薬科大付属病院に勤務し、13年度に相澤病院消化器外科統括医長に就任。同病院副院長を経て28年度から現職。専門は消化器外科。日本外科学会、日本消化器外科学会、専門医・指導医を務める。

がんの治療に精通する。診療科の枠を超えた患者本位のがん医療を推進し、患者の安全確保や医療品質の向上を目指す国際認証(JCI)の取得を国内で6番目に実現するなど、病院の医療充実をけん引してきた。1日は職員向けに所信表明を行い「患者さんと真摯に向き合う思いを全員と共有し、よい病院づくりに全力を尽く

田内克典新院長は1日、報道各社の取材に応じ、決意などを語った。主なやりとりは次の通り。

―どんな病院を目指すか。

医師として、目の前の患者さんに真摯に向き合うことを大切にしてきた。この思いを皆で共

―病院経営で大切にすることは。

患者さんにとってだけでなく、

患者に真摯に向き合う

有し、安全で質の高い医療サービスを続けていきたい。―地域医療の課題は。

―地域医療の課題は。

高齢化などを背景に、地域医療の現場でも病床の区分けが進み、利用者のニーズに応じた医療の提供が課題となっている。

―抱負を述べた。

相澤前院長は、5月27日付で慈泉会理事に就任した。田内新院長は、5月27日付で一般社団法人・日本病院会の会長に選出され、会の活動に力

を注ぐため院長を退いた。平成6年から23年